ビクセン製品ご相談窓口のご案内

ビクセン製品につきましてお問い合せ、ご相談（製品の使い方、お買い物相談、修理依頼など）がございましたら、お買い上げの販売店または下記窓口までお問い合せください。なお、修理をご依頼される際は、もう一度**本書（説明およびFAQなど）をご覧になり、故障かどうかをよくご確認ください。**それでも正常に動作しない（不具合と思われる）場合は、

① 商品名　② お買い上げ日　③ 症状または内容　を具体的にご連絡ください。

1. 弊社ホームページからお問い合わせ

お問い合わせ窓口はこちらから　**http://www.vixen.co.jp/contact/index.htm**

WEBページの構成変更等によりリンク切れが起る場合は、トップページ(**http://www.vixen.co.jp/**)よりお進みください。

2. お電話によるお問い合わせ

カスタマーサポートセンター　電話番号：**04-2969-0222**（カスタマーサポートセンター専用番号）※1

受付時間：9:00～12:00・13:00～17:30※2（土・日・祝日、夏季休業、年末年始休業など弊社休業日を除く）

※1：都合によりビクセン代表電話に転送されることもございます。また、お電話によるお問合せは時間帯によってつながりにくい場合もございます。
お問い合わせにスムーズに回答させていただくためにも、"1.弊社ホームページからお問い合わせ"にてご用意しているお問い合わせメールフォームのご利用をお薦めいたします。

※2：受付時間は変更になる場合もございます。弊社ホームページなどでご確認ください。

株式会社ビクセン
〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
［代　　表］TEL：04-2944-4000 FAX：04-2944-4045
［ホームページ］http://www.vixen.co.jp

62キ-3-(M)

Vixen®

APクランプ筒受ユニットH取扱説明書

はじめに

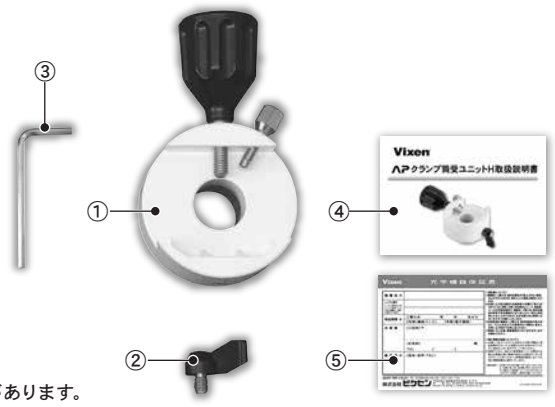
このたびは「APクランプ筒受ユニットH」をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は、「APクランプ筒受ユニットH」の取扱説明書です。
ご使用にあたり、赤道儀や他モジュールなど併用する機器の説明書も併せてお読みください。

本製品はAPシリーズにご使用いただくパーツの一つであり、単体ではご使用になれません。

◎セット内容の確認

本製品には以下のものが入っています。
内容をお確かめください。



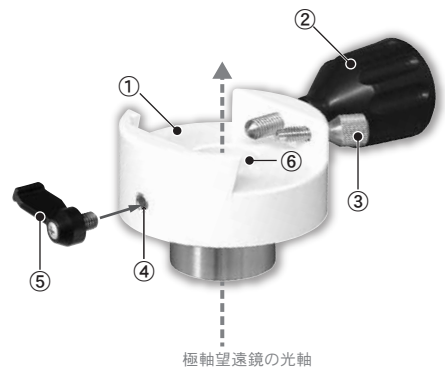
◎ APクランプ筒受ユニットHのセット内容

①	APクランプ筒受ユニットH本体
②	APクランプ
③	六角レンチ4mm
④	APクランプ筒受ユニットH取扱説明書（本書）
⑤	保証書（電子機器1年、機械パーツ5年）

※セットでお買い求めの場合は内容明細が異なることがあります。

基本説明/各部名称

①プレートホルダー
②鏡筒固定ネジ（プレート固定ネジ）
③鏡筒脱落防止ネジ（プレート脱落防止ネジ）
鏡筒などに装備しているアタッチメントプレートWT、またはスライドバーをプレートホルダー(溝)にはめ、側面の鏡筒固定ネジで挟み込んで固定します。
ネジの頭で平らな面（斜面）を圧迫する方式であるため、着脱がスピーディかつ確実に固定できます。スライドバーの場合は、長さ方向に位置をずらして任意の位置に固定できます。
鏡筒固定ネジをゆるめてしまっても不意な脱落を防止する鏡筒脱落防止ネジも装備しています。
※アタッチメントプレートWT、汎用スライドバー、スライド雲台プレート、スライドバーM/Lなどの取付けに対応します。

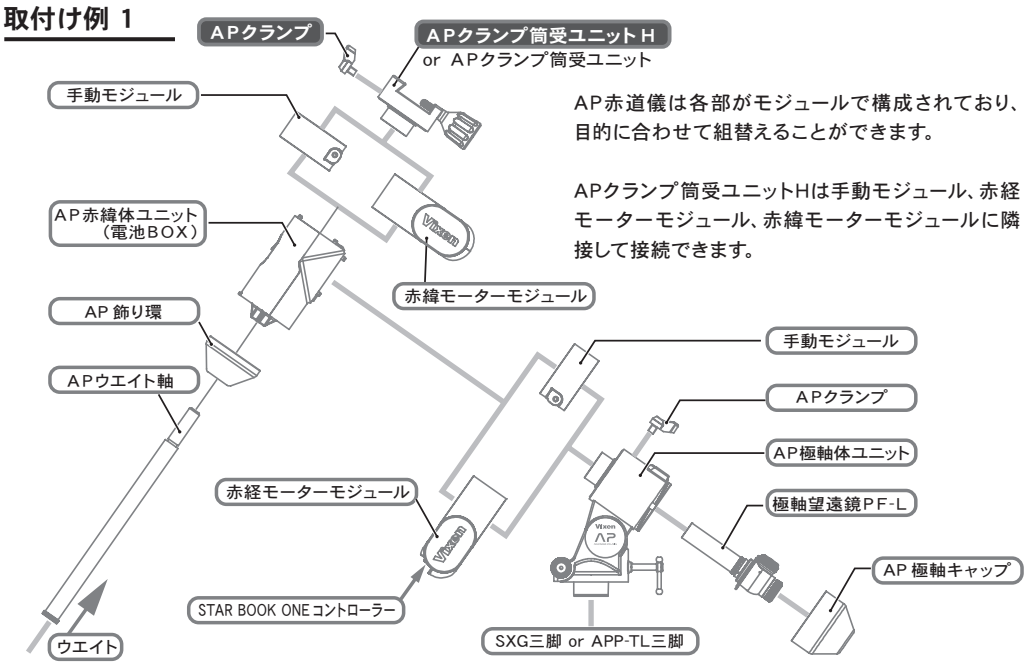


④フリーストップ硬さ調整ビス
⑤APクランプ
本製品は初期状態でフリーストップ仕様となっています。フリーストップ硬さ調整ビスを付属の六角レンチ4mmで回すことでフリーストップのトルクを調整できます。また目的により、ビスをAPクランプと交換することにより、クランプによる固定にも対応します。

⑥極軸窓
極軸望遠鏡の前でも使用できることを想定し、極軸窓を装備しています。

モジュールについて

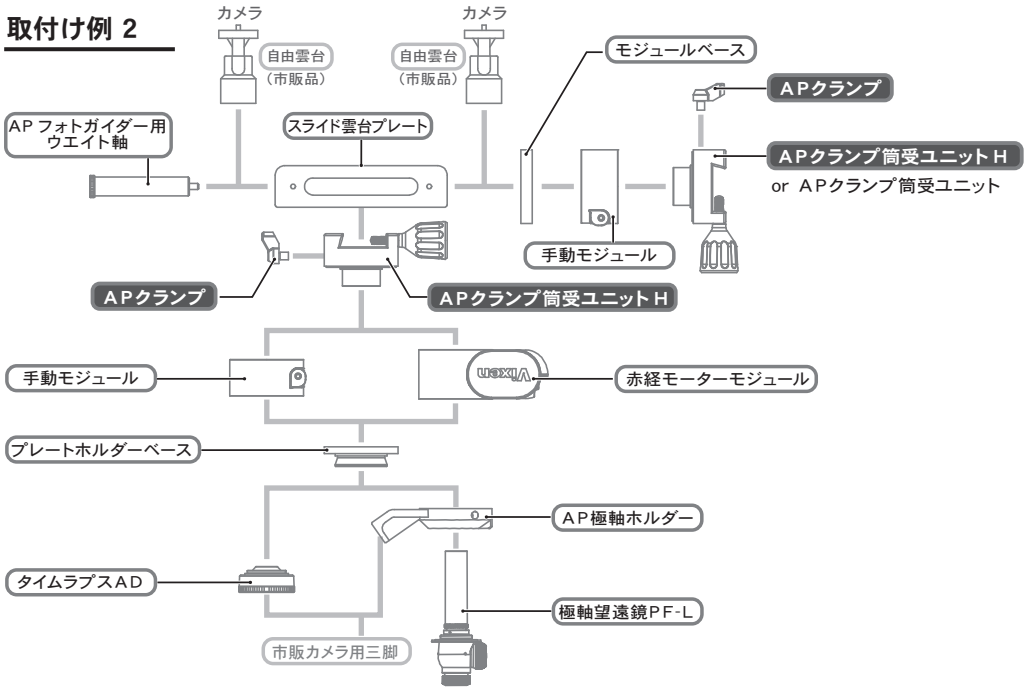
取付け例 1



AP赤道儀は各部がモジュールで構成されており、目的に合わせて組替えることができます。

APクランプ筒受ユニットHは手動モジュール、赤経モーターモジュール、赤緯モーターモジュールに隣接して接続できます。

取付け例 2



組み込み方

赤経モーターモジュール、赤緯モーターモジュールの電気接点のない面、および手動モジュールの穴径が大きいほうの面に取付けて使用します。

※赤経モーターモジュールに取付けた例で説明しています。
他モジュールに取付ける場合もこれに準じます。
※AP星空雲台（ポータブル赤道儀）を組む例で、APクランプ筒受ユニットHに直接関わる箇所のみ抜粋で説明しています。全体的な組立てをされる際は、併用するモジュール・パーツの取扱説明書と併せてお読みください。

1 赤経モーターモジュールの電気接点がない面を内側にしてAPクランプ筒受ユニットHの突起をはめ込みます。

2 写真を参考に赤経モーターモジュール（APクランプ筒受ユニットH）を回して、ネジを通す穴（ネジ切りのない大きいほうの穴）の位置を合わせた後、赤経モーターモジュールに付属のネジ3本をねじ込みます。六角レンチ3mmでゆるまないようにしっかり固定してください。

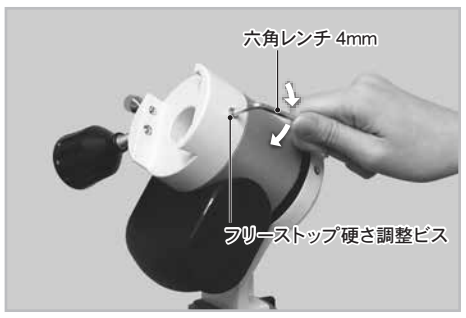
3 目的に合わせて組込み、ご使用ください。
写真はAP星空雲台(ポータブル赤道儀)として組立てた例です。

APクランプについて

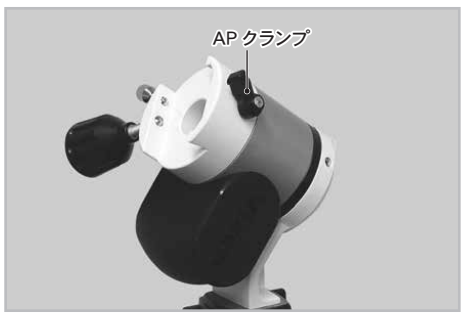
目的によりAPクランプを取付けます。
硬さ調整ネジと差替えてご使用いただくことでクランプレバーとしてご使用いただけます。
AP星空雲台(ポータブル赤道儀)仕様など重量バランスが多少崩れたままご使用になることが想定される場合は、必ずAPクランプを取付けてください。

取付け方

1 フリーストップ硬さ調整ビスを六角レンチ4mmで取り外します。ビスを外すと内部に小さな樹脂製のあて板が入っています。この板はそのまま使用しますので、ビスに付着して一緒に外れてしまった場合は↗斜めにならないように注意してもう一度ネジ穴に落とし込んでください。



2 APクランプをねじ込んで完成です。



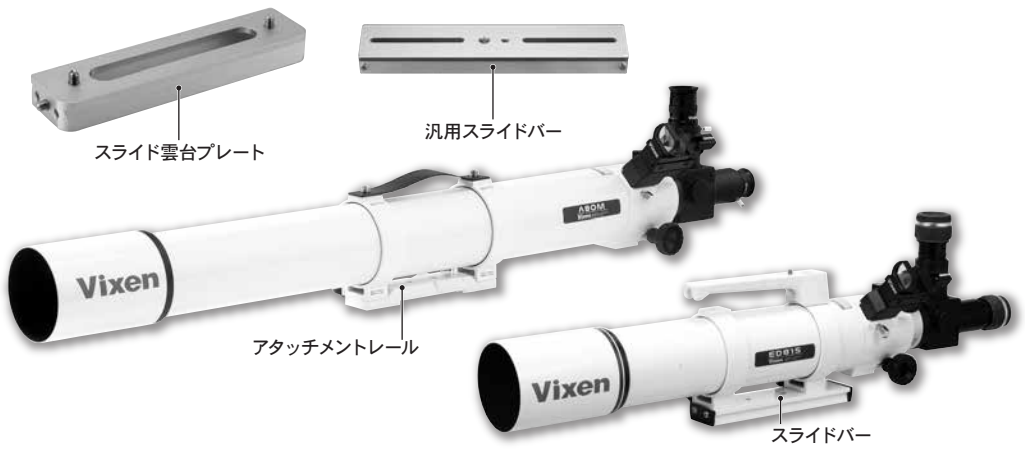
3 クランプをしめた際、レバーの位置を変更したい場合は、市販のプラスドライバーなどでレバーのみを取外し、位置を変更のうえ再度取付けてください。

ご使用方法

プレート等の取付け方

APクランプ筒受ユニットHはスライド雲台プレート、汎用スライドバー、およびアタッチメントプレートWT(アタッチメントレール、スライドバーM／L)を装備した鏡筒を取付けできます。

例:スライド雲台プレート、汎用スライドバー、A80M、VMCED81SII



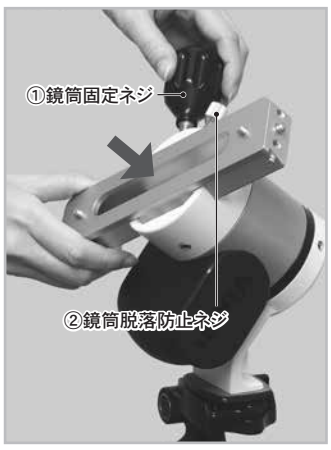
以下、AP星空雲台(ポータブル赤道儀)仕様にてスライド雲台プレートを取付けた例で説明しています。

1 写真のように鏡筒固定ネジ、鏡筒脱落防止ネジをゆるめておきます。ゆるめ量が足りないと取付け時にプレートとネジが干渉して取付けできないことがありますので、十分ゆるめてください。

2 スライド雲台プレートをプレートホルダーの溝にはめ、手で支えながらネジをしめて固定します。※1

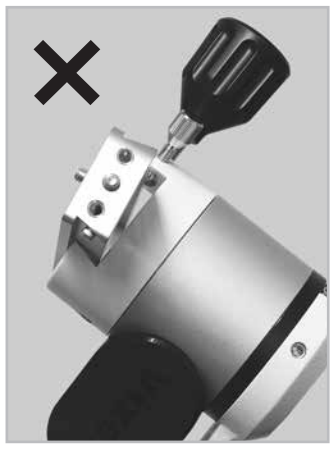
①鏡筒固定ネジ
②鏡筒脱落防止ネジ

の順番でネジをしめます※。ゆるまないようにしっかりしめ込み確実に固定してください。



① 注意:接合面を確実に合わせて取付けてください。

接合面を確実に合わせて取付けてください。不安定なままでも固定できる場合がありますが、使用中に機材が脱落する可能性があり大変危険です。



※1:スライド雲台プレート側面(傾斜面部分)をネジの頭で圧迫して取付ける方式となっています。スライド雲台プレートの側面にネジ穴はございません。

※2:①②が逆手順になると、プレートがしっかり固定できないことがありますのでご注意ください。取外す場合は、プレートまたは機材を手で支えながら②①の順でネジをゆるめてください。

仕様

仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

◎スペック

仕様	APクランプ筒受ユニットH
形式	アリミゾ式筒受・フリーストップ式(硬さ調整可) 鏡筒固定ネジ、鏡筒脱落防止ネジ付
クランプ	APクランプ(付属)取付けによりクランプ対応可
ベアリング	ボールベアリング×1個
対応プレート	スライド雲台プレート、汎用スライドバー、スライドバーM/L、 アタッチメントプレートWT、(アタッチメントレール＜鏡筒に装備＞)
大きさ	φ78×56mm(突起部を除く)
重さ	345g

◎APクランプ筒受ユニットH寸法図